

入札説明書・案件内容に対する質問内容および回答内容

調達案件番号 010001001020190427

調達案件名称 (特定調達)東岩槻第1排水区下水道工事(北建-R1-202)

入札方式 一般競争入札(標準)

管理番号 000005

題名 質問書

質問事項

番号	質問事項
1	土質調査、ボーリングデータ等について開示頂きたく、ご教示ください。 →契約後、受注者に資料提供します。
2	雨水調整池仮設土留工について、設計資料について開示頂きたく、ご教示ください。 →契約後、受注者に資料提供します。
3	工事用搬入・進入路について、現場への進入口は市道 1556 号線側に設定されていますが、そこまでの搬入路について、想定されているルートをご教示ください。 →受注者と協議するものとします。

4	<p>工事用搬入路について、規制、周辺との協議・指示事項等がありましたらご教示ください。</p> <p>→現時点ではありませんが、一般的事項として追加分記仕様書その1第9条1・2を参照ください。なお、施工時に地元要望・制約等を受けた際は、適時対応していただきます。</p>
5	<p>内訳書 0173 号に交通誘導警備員 B2, 547 人が計上されていますが、想定配置箇所についてご教示ください。</p> <p>→公園内作業及び市道内作業それぞれ 3 人/日を見込んでおりますが、配置箇所について受注者と協議いたします。</p>
6	<p>雨水調整池の仮設土留、作業構台については指定仮設でしょうか。それとも任意で変更可能でしょうか。ご教示ください。</p> <p>→仮設土留・作業構台については、任意仮設です。変更の際は協議を行います。</p>
7	<p>工事用排水の放流先についてご教示ください。</p> <p>→近隣雨水系統への放流を想定しています。</p>
8	<p>雨水調整池仮設土留計画について、柱列式連続壁下端（芯材無し、ソイルモルタルのみ）が▽-7.50 となっていますが、これは掘削エリアと外部との遮水目的でしょうか、ご教示ください。</p> <p>→芯材下端は▽-7.50 で、ソイルモルタル下端は▽-18.50 であり遮水目的です。図面 9 8 / 1 1 7 を参照ください。</p>
9	<p>工事エリア内もしくは周辺部で、仮設事務所用地として借用（もしくは無償貸与）できる場所がありましたらご教示ください。</p> <p>→公園内（一般競技場部）に常設可能ですが、配置計画は受注者にて検討願います。また、用地借用は考えておりません。</p>
10	<p>図面番号 63 流入管平面図・縦断面図・横断面図に記載の計画雨水管□1500×1500 については、工事期間中は未設置と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→お考えのとおりです。</p>

11	<p>図面番号 63 流入管平面図・縦断面図・横断面図、図面番号 65 放流箇所詳細図に記載の水道、ガス管切廻し、閉塞済み污水管撤去については、当工事の範囲内でしょうか。ご教示ください。</p> <p>→水道管・ガス管の切回しは各企業者での対応を想定していますが閉塞済み污水管撤去については、本工事対応です。</p>
12	<p>図面番号 107 流入管発進到達立坑仮設図で D-D 断面図の高圧噴射攪拌工が改良深さが 2 段となっている理由について、ご教示ください。</p> <p>→管理人孔設置範囲は As 層の液状化対策のため改良深さを大きくしています。</p>
13	<p>図面番号 106 分水人孔仮設図 (2)、図面番号 107 流入管発進到達立坑仮設図で、高圧噴射攪拌工仕様に腐植土用と記載がありますが、仕様書では読み取れません。腐植土用と考えて宜しいでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→お考えのとおりです。</p>
14	<p>追加特記仕様書その 1 第 2 条 [設計施工] の意味合いは、本工事が一般的な設計施工案件という訳ではなく、1~3 項に記載の施工方法、使用機械を指定しないということでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→使用機械については、さいたま市土木工事標準積算基準書を基に積算しており、使用機械を指定するものではありません。また、使用機械については施工計画書に明示し監督員の承諾を得ること。</p>
15	<p>追加特記仕様書その 1 第 9 条 [施工区分] 5 において、分水人孔施工は出水期を考慮し、工程管理に十分留意することとあり、また、設計・積算における注意事項の工事工程表では R2 年 11 月~R3 年 3 月の施工を想定されていますが、これは、官庁協議等で渇水期施工を条件とされているのでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→工程表は施工展開を想定してのものであり、施工時期を拘束するものではありませんが、浸水リスクを考慮し渇水期施工が望ましく、施工時期については、受注者との協議を考えております。</p>
16	<p>追加特記仕様書その 2 第 1 条趣旨 3 に一般競技場内の地表から 1.5m の埋戻しは現地発生土を利用となっていますが、地表部分は浅層改良されており、AC1、AC2 層は要対策土壌とされていることから、中間の土層を利用すると考えられているのでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→お考えのとおりです。</p>

17	<p>追加特記仕様書その2 第1条趣旨4に日常的な沈下計測や動態観測を工事着手前・施工中及び完了時に対象工種・期間・位置・方法について監督員と協議の上実施することとなっていますが、これは設計変更対象と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→共通仮設費に含まれるものと考えております。</p>
18	<p>追加特記仕様書その2 第3条グラウンドアンカー工3にアンカー孔より地下水の出水がある場合は止水工を併用することとなっており、内訳書0014号に止水ボックス、パッカー、口元止水工等が計上されていますが、どれくらいの水圧を想定されていますか。ご教示ください。</p> <p>→水頭差10m未満を想定しています。</p>
19	<p>追加特記仕様書その2 第5条地盤改良範囲及び種類2に、市道1557号線内での改良時は車上プラントで夜間は全面開放とされていますが、分水人孔仮設土留には路面覆工等は見込まれていません。夜間全面開放とは信号による片側交互通行も含まれるのでしょうか。また、土留、躯体施工時の道路利用条件も同様でしょうか。ご教示ください。</p> <p>→受注者協議及び警察協議を踏まえて方針決定いたします。</p>
20	<p>追加特記仕様書その2 第8条立坑工に市道内で築造する立坑作業は全て昼間作業とし、夜間は全面開放とされていますが、仮設土留には路面覆工等は見込まれていません。夜間全面開放とは信号による片側交互通行も含まれるのでしょうか。また、市道1556号線での放流管施工時の規制はどうでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→質問19の回答と同様の考えです。</p>
21	<p>追加特記仕様書その3 3-5、3-6に中央監視装置、WEBサーバ機能増設等の記載がありますが、図面番号85、86排水ポンプ電気設備図と合わせて、今回の工事範囲はどこまででしょうか。ご教示ください。</p> <p>→電気設備及び通報装置を含めすべてが本工事の対象です。</p>
22	<p>数量計算書 柱列式連続壁で芯材切断549.1m (0.3×2+0.452) ×522箇所)とありますが、切断箇所について、ご教示ください。</p> <p>→調整池天端位置 (▽TP. +6.70m) で計画しています。</p>
23	<p>数量計算書 分水人孔発進到達土留工で鋼矢板Ⅲ型は大半が埋め殺しとなっていますが、数量表の賃料重量50.4t (発進)、57.24t (到達) はなにを示されるのでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→ご指摘のとおり残置する部分の鋼矢板重量を示しており、当該重量を基に買取価格を算定しております。</p>

24	<p>数量計算書 仮設材運搬費に敷き鉄板 356.088 t を見込まれていますが、想定敷設箇所についてご教示ください。また、敷設費用は仕様書のどこに計上されていますか。ご教示ください。</p> <p>→想定敷設箇所は、図面 参-1 を参照ください。敷設費用は第3 4号内訳書を参照ください。</p>
25	<p>本工事エリアは南北に地層が急激に変化していると見受けられます。雨水調整池での土工事において、掘削中の要対策土の地層による仕分け方法、判断方法についてはどのようにお考えですか。ご教示ください。</p> <p>→設計においては、土質調査及び土壌分析調査を基に要対策土の地層を判別しています。施工時においても設計で考慮した範囲・厚さの掘削等に伴い要対策土として処分することになります。設計と現地に相違が確認された場合は協議を行います。</p>
26	<p>また、要対策土量は実数清算との理解でよろしいでしょうか。ご教示ください。</p> <p>→仕様書のとおりと考えております。</p>
27	<p>雨水調整池プレキャストブロック目地工については、柱頭部付近ほか多数の5m以上の高所作業が見込まれますが、仕様書代価表8、9号等には足場、高所作業車等の計上がありませんが、どのようにお考えですか。ご教示ください。</p> <p>→目地工における足場工費用は諸経費内に含まれます。</p>
28	<p>仕様書内訳書0915号に下水汚泥処理費92.38tが計上されていますが、何を示していますか。また、想定される処分方法についてご教示ください。</p> <p>→既設水路内に堆積している汚泥処分を想定しており、処分方法については産業廃棄物収集運搬業許可書及び産業廃棄物処分業許可書を取得している機関で適切な処分を想定しておりますが、堆積物の性状により運搬方法を決定します。</p>
29	<p>φ1800 推進管について、詳細図がありません。特に急曲線部1/6鋼殻付き管については、目地開きストッパー等の特殊加工を考慮されているのでしょうか。積算する上で、価格差が大きいため、推進管図（仕様）を提示いただきたく。ご教示ください。</p> <p>→目地開きストッパー等の特殊加工は考慮しておりません。</p>

30	<p>φ1800HP 推進については大半が軟弱な AC1 層内での施工となります。その中で急曲線部の施工については、左右の方向制御ストロークジャッキ、機器の折れ曲げ能力等から検討されていると推察されますが、実施工においては AC1 層では推進機外側の地山反力が不足することが懸念されます。また、推進機自沈を考慮する必要があり、そのため上下方向ストロークジャッキを制御する場合、更に平面曲線造成が難しくなります。このような場合、曲線施工部の地盤補強（改良、薬注等）が必要と考えますが、どのようにお考えでしょうか、ご教示ください。</p> <p>→土質調査結果に基づき地山反力に対する検討を行い、曲線部の地盤改良は不要と想定しています。</p>
31	<p>φ1800HP 推進について、既設埋設物との離隔が 50 c m 程度となっており、特に急曲線施工部が厳しくなっています。防護等の必要性についてはどのようにお考えでしょうか、ご教示ください。</p> <p>→防護等は不要と考えていますが、施工時に企業者と協議を行い必要に応じて対応すること。</p>
32	<p>作業開始、終了時間に制限はありますか。</p> <p>→原則、月曜日～金曜日の平日 9：00～17：00 と考えております。</p>
33	<p>底版築造工等のコンクリートのスランプが 8 cm となっていますが、ポンプ圧送性および品質確保のため 12 cm に変更することは可能でしょうか。</p> <p>→施工承諾にて変更可能です。</p>
34	<p>設計・積算における注意事項において、「水の料金は、平成 29 年度事業年報（さいたま市水道局）を使用」とありますが、これは、平成 29 年度事業年報にある水道料金表から求めると考えてよろしいですか。ご教示ください。</p> <p>→平成 29 年度事業年報内（P. 71）の平成 29 年度年間水道料金を年間総有収水量で除した 1 m³ 当たり供給単価の 1 円未満を切捨てた単価にて積算しています。</p>
35	<p>平成 29 年度事業年報の水道料金表を用いる場合、料金は税込と記述されています。料金は税抜きにして使用すると考えてよろしいですか。ご教示ください。</p> <p>→お考えのとおりです。</p>

36	<p>「水の料金」に、水道の基本料金は、含まれていますか。ご教示ください。 →含まれておりません。</p>
37	<p>図面 60/117 グラウトアンカー工配置図において、アンカー材の規格、数量が計上されていません。図面もしくは、数量計算書に、計上していただけないでしょうか。 →アンカー材を構成する部品等を1式で計上しております。</p>
38	<p>工事仕様書 代価表 第0006号(S0001)および第0007号(S0002)のプレキャストスタンド型ブロック据付において、クローラクレーン150t 賃料(L001140009)を計上しています。さいたま市の「土木工事設計単価」には、「クローレーンの燃料費等は、クローラクレーン賃料に含まないと記述」されています。クローラクレーン150tの燃料費は、どのように考えられていますか。ご教示ください。 →受注者と協議するものとします。</p>
39	<p>工事仕様書 代価表 第0097号(S0151)の止水ボックス材料費のボルトナットの規格について記載がありません。ボルトナットの規格について、ご提示願います。 →ボルトナットの規格はボルト：M16×75 ナット：M16です。</p>
40	<p>仕様書：第0080号内訳書、第0085号内訳書 流入施設工の鋼矢板土留工（発進立坑）および鋼矢板土留工（到達立坑）において『油圧式杭圧入引抜機据付・解体』が計上されていませんが、設計変更と考えるとよろしいでしょうか。あるいは鋼矢板圧入、鋼矢板引抜の施工費に含まれているのでしょうか。 →受注者と協議するものとします。</p>
41	<p>仕様書：第0080号内訳書、第0085号内訳書 流入施設工の発進立坑鋼矢板および到達立坑鋼矢板は残置とスクラップとなっていますが、残置部分は賃料ではなく市中価格と考えるとよろしいでしょうか。 →お考えのとおりです。</p>
42	<p>追加特記仕様書その2 第1条及び第2条 雨水貯留池のプレキャスト部材は必要容量を確保し構造計算等成立すれば、プレキャスト部材形状、寸法等は変更可能でしょうか。 →施工条件及び経済性を考慮し本工事の設計なっておりますが、受注者からご質問の内容の提案があれば協議するものとします。</p>